

# Mitsui Fudosan

三井不動産 Story

台風がくる。  
なんくるないさ、ではありません。

沖縄本島からずっと南、

小浜島という楽園にそのリゾートはある。

南群島、つまり南十字星を意味する

「はいむるよし」というその場所には

本物のスローライフがある。

ここに来ると生きていることに

喜びを感じるができる。

空と海と風のあいだで遠くをただ見つめる。

その時間の素晴らしさに、

日々のなかで忘れかけた大切なことを思い出す。

台風が来ると世界は一変する。

ここが自然のまんなかであることを思い知る。

風速70メートルをこえると

軽自動車も動かしてしまおうその風のなか

はいむるよしのスタッフは

部屋に残ったお客様のもとにお食事を届ける。

なんくるないさ、とは言えない。

向こうのドアがめっぼう遠い。

けれど、それを乗り越えたとそこに必ず

お客様のほっとした顔がある。

その顔を見ると、すべてが報われる。

サーピスというものは

こういう顔を見せてもらうためにあるのかもしれない。

雨がやむと空と海はいつも真っ青になる。

いい街には、物語がある。

